

オペレーター： 和田 稔郎

デロイト トーマツ グループ合同会社に入社すること、イコール、デロイトに
ジョインすること



Q. デロイト トーマツ グループ合同会社（DTG）はどのような役割をグループ内で担っているのでしょうか？

A. DTGはデロイト トーマツ グループのコーポレートサービス機能を担う会社として、2017年4月に設立、6月から業務を開始しました。グループ全体の各専門的サービス、ビジネスである監査、リスクアドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー、税務、法務を行う法人にあったコーポレート部門を順次集約し、業務を高度化、効率化することを期待されています。このため、単なるオペレーション業務を行うシェアードサービス会社ではなく、各ビジネス法人の規制などを十分に理解し、コーポレート業務を企画、提案する役割を担っています。これには、各ビジネスの業務フローの成り立ちを理解し、良いところを統合する標準化も含まれます。各ビジネス法人に所属するプロフェッショナルは所属法人の事情には当然に明いですが、DTGメンバーはすべての法人の事情に通じて、グループ全体最適を考えることを担っていると言えます。

また、近年では、グローバル、アジアパシフィックなど各国のコーポレート会社、部門とのコラボレーションも担当範囲に入っていますね。

Q. DTGが目指している姿をお聞かせください。

A. DTGの目指すべき姿としてのビジョンは前身であるデロイト トーマツ コーポレート ソリューション合同会社(DTCS)設立時の「総合プロフェッショナルファームを支えるそれだけでも一流の会社である」から更なる一歩！を目指して、ビジョンをより行動指針に落とした「コーポレート機能でグループ全体をリードする」を掲げています。また、それを実現するために必要なコンセプトとして、クライアントに参考となる全体最適の仕組みを目指す「One Platform」をCVPとし、リードするためのチカラとして、世界最高のコーポレート組織を目指す「One DTG」をEVPとしています。One Platformの方は適切な内部統制を組み込みながら、ITのチカラも活用してDigital化、標準化を進め、グループ全体の最適なプラットフォームを目指すものです。一方、One DTGは個々人のスキルアップを支援、部門の十分なコラボレーションを通じた組織力を発揮してフロントビジネス法人をリードできる、働き甲斐と働きやすさを強化しようとするものです。これらの結果、ビジネス法人から、背中を完全に預けてもらえる存在となって、所属メンバーが誇りを持てる、先進的なコーポレート会社を目指すべき姿ですね。

Q. DTGへの入社を検討されている候補者の方々へメッセージをお願いします。

A. これまで、グループ内にあるビジネス法人をコーポレート機能でリードする、グローバル、アジアパシフィックとのコラボレーションの可能性を視野に入れるなどに触れてきました。これらは複雑に絡み合うこともありますが、これを楽しむチャレンジ精神の旺盛な方、グローバルなどとのコラボレーション機会を念頭に置く方、大募集です。また、一時期はフルリモート勤務となっていました、コロナ禍後は、チームワークとしての効果的なワークスタイルの確立を目指して、出社とリモートのハイブリッドな働き方にチャレンジしております。DTGというコーポレート会社に入ることは、デロイトのメンバーになることでもありますから、この働き方改革においてイノベーションを起こす一翼を担うぞ、と思う方も大募集ですね。